

# 石油連盟の概要

2021

Petroleum Association of Japan



# 目次

2

石油連盟とは  
Petroleum Association of Japan

3

事業内容  
Activities

3・4

石油連盟の組織  
Organization of Petroleum Association of Japan

5・6

委員会の組織  
Management and Committees

7

事務局の機構と職務  
Organization and Role of Secretariat

8

2021年度の主な事業計画  
PAJ's Main Activities & Projects in 2021

9

数字で見るわが国の石油産業  
Overview of the Petroleum Industry in Japan

10

会員会社  
Members





Petroleum Association of Japan

# 石油連盟とは

石油連盟(Petroleum Association of Japan)は、1955年11月、わが国の石油精製・元売会社、すなわち、原油の輸入・精製、石油製品の全国的な販売を行っている企業の団体として創立され、現在11社の会員会社で構成される基幹的産業団体です。石油は現在でも一次エネルギー供給の最大シェアを占め、わが国の産業活動や国民生活にとって、欠くことのできない重要な基礎物資ですが、必要とする原油のほぼ100%を中東地域をはじめとする産油国から輸入しています。このため、石油製品を安定的かつ効率的に供給することは、わが国のエネルギー政策の中心的課題です。特に、2011年3月11日に発生した東日本大震災を契機に、災害における石油の重要性が再認識されたことから、今後のエネルギー政策においては、引き続き安定供給を最優先としたうえで石油の特性をふまえた基幹エネルギーとしての石油の位置付けが期待されています。

石油連盟では、エネルギー政策における石油の重要性を引き続き訴えていくとともに、安定供給体制の強化、気候変動問題への積極的な取り組み、そして製油所の国際競争力強化に向けた環境整備などを通じて、「サステイナブルな石油」の実現に向けて取り組んでいます。

Petroleum Association of Japan (PAJ), incorporated in November 1955, is composed of 11 refiners and primary distributors in Japan.

Its main activities are:

- 1.to collect the opinions of the member companies and compile proposals to be incorporated in the government petroleum policy,
- 2.to survey the situation of the petroleum industry, and
- 3.to provide information relating to the petroleum industry.



# 事業内容 / 石油連盟の組織

石油連盟は、石油業界が当面する内外の諸問題について意見をまとめ、問題の解決を促進することにより、社会的な調和のもとに石油の安定供給を維持し、石油産業の健全な発展を図ることを目的に、下記の事業を行っています。

PAJ deals with all matters concerning the refining and marketing of petroleum products.

The main functions by PAJ are as follows:

- 1 石油に関する知識の啓発および普及宣伝に関すること**  
Publishing information on important issues for the petroleum industry.
- 2 石油業に関する意見の発表および建議に関すること**  
Advocating the industry's opinions and submitting proposals to the government, business associations, the media and the general public.
- 3 内外石油事情の調査研究および統計に関すること**  
Researching and coordinating activities related to important petroleum issues and providing information on such issues.
- 4 大規模石油災害対応体制整備事業等補助事業に関すること**  
Undertaking governmental subsidy programs such as the "Major Oil Spill Response Program", including international conferences.
- 5 会員会社相互の連絡、融和および親睦に関すること**  
Enhancing communication and understanding among member companies.

## 役員 Executives

石油連盟の最高意志決定機関は総会、理事会です。理事会は会員会社の代表者で構成され、会長は理事の中より理事会で選任されます。



会長 President  
**杉森 務 T. Sugimori**  
 ENEOSホールディングス株式会社  
 代表取締役会長 グループCEO  
 Representative Director,  
 Chairman of the board, Group CEO  
 ENEOS Holdings, Inc.



副会長 Vice-President  
**木藤 俊一 S. Kito**  
 出光興産株式会社 代表取締役社長  
 Representative Director, President and  
 Chief Executive Officer  
 Idemitsu Kosan Co., Ltd.



専務理事 Senior Managing Director  
**奥田 真弥 S. Okuda**



副会長 Vice-President  
**鈴木 康公 Y. Suzuki**  
 コスモ石油株式会社 代表取締役社長  
 President, Representative Director,  
 Chief Executive Officer  
 Cosmo Oil Co., Ltd.



常務理事 Managing Director  
**吉村 宇一郎 U. Yoshimura**

## 理事 Managing Directors

### 木藤 俊一 S. Kito

出光興産株式会社 代表取締役社長

### 原田 和久 K. Harada

東亜石油株式会社 代表取締役社長

### 武藤 潤 J. Mutoh

鹿島石油株式会社 代表取締役社長

### 岡 豊 Y. Oka

太陽石油株式会社 代表取締役社長

### 山本 重人 S. Yamamoto

富士石油株式会社 代表取締役社長

### 鈴木 康公 Y. Suzuki

コスモ石油株式会社 代表取締役社長

### 森山 幸二 K. Moriyama

コスモ石油マーケティング株式会社 代表取締役社長

### 杉森 務 T. Sugimori

ENEOSホールディングス株式会社 代表取締役会長 グループCEO

### 若澤 雅博 M. Wakazawa

キグナス石油株式会社 代表取締役社長

### 前澤 浩土 H. Maezawa

昭和四日市石油株式会社 代表取締役社長

### 飯田 聰 S. Handa

西部石油株式会社 代表取締役社長

### 須藤 幸郎 Y. Sudo

### 小野 森彦 M. Ono

## 歴代会長 All the Past Presidents

**初代** 1955年11月～1958年9月  
**佐々木 碩市** Y. Sasaki  
日本石油社長

**2代** 1958年10月～1959年5月  
**栗田 淳一** J. Kurita  
日本石油社長

**3代** 1959年5月～1961年5月  
**竹内 俊一** S. Takeuchi  
三菱石油社長

**4代** 1961年5月～1963年5月  
**中尾 幸雄** S. Nakao  
ゼネラル石油社長

**5代** 1963年5月～1965年5月  
**上村 英輔** E. Kamimura  
日本石油社長

**6代** 1965年5月～1967年5月  
**藤岡 信吾** S. Fujioka  
三菱石油社長

**7代** 1967年5月～1969年5月  
**密田 博孝** H. Mitsuda  
大協石油社長

**8代** 1969年5月～1971年5月  
**出光 計助** K. Idemitsu  
出光興産社長

**9代** 1971年5月～1973年5月  
**瀧口 丈夫** T. Takiguchi  
日本石油社長

**10代** 1973年5月～1974年5月  
**密田 博孝** H. Mitsuda  
大協石油社長

**11代** 1974年5月～1975年2月  
**渡邊 武夫** T. Watanabe  
三菱石油社長

**12代** 1975年2月～1975年5月  
**中島 順之助** J. Nakajima  
日本石油精製社長

**13代** 1975年5月～1979年5月  
**石田 正實** M. Ishida  
出光興産会長

**14代** 1979年5月～1984年5月  
**永山 時雄** T. Nagayama  
昭和石油社長

**15代** 1984年5月～1995年5月  
**建内 保興** Y. Takeuchi  
日本石油会長

**16代** 1995年5月～1998年5月  
**出光 裕治** Y. Idemitsu  
出光興産社長

**17代** 1998年5月～2003年5月  
**岡部 敬一郎** K. Okabe  
コスモ石油会長兼社長

**18代** 2003年5月～2008年5月  
**渡 文明** F. Watari  
新日本石油会長

**19代** 2008年5月～2012年5月  
**天坊 昭彦** A. Tembo  
出光興産会長

**20代** 2012年5月～2018年5月  
**木村 康** Y. Kimura  
JXTGホールディングス会長

**21代** 2018年5月～2020年5月  
**月岡 隆** T. Tsukioka  
出光興産会長

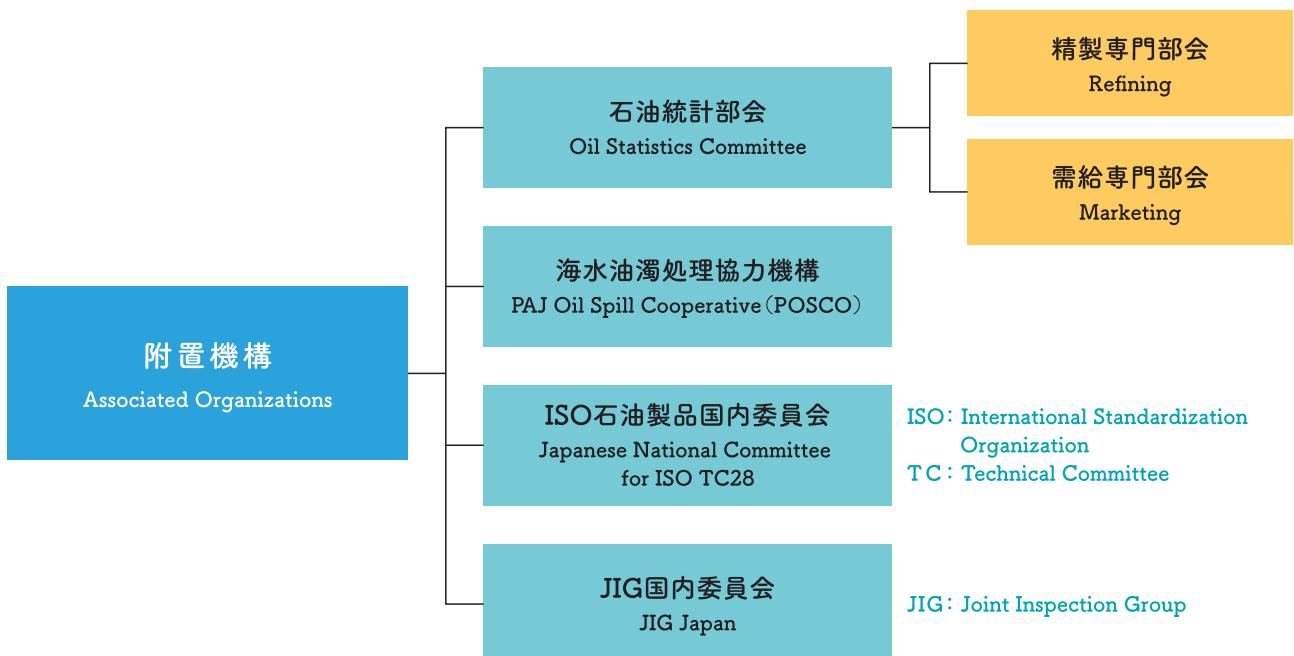
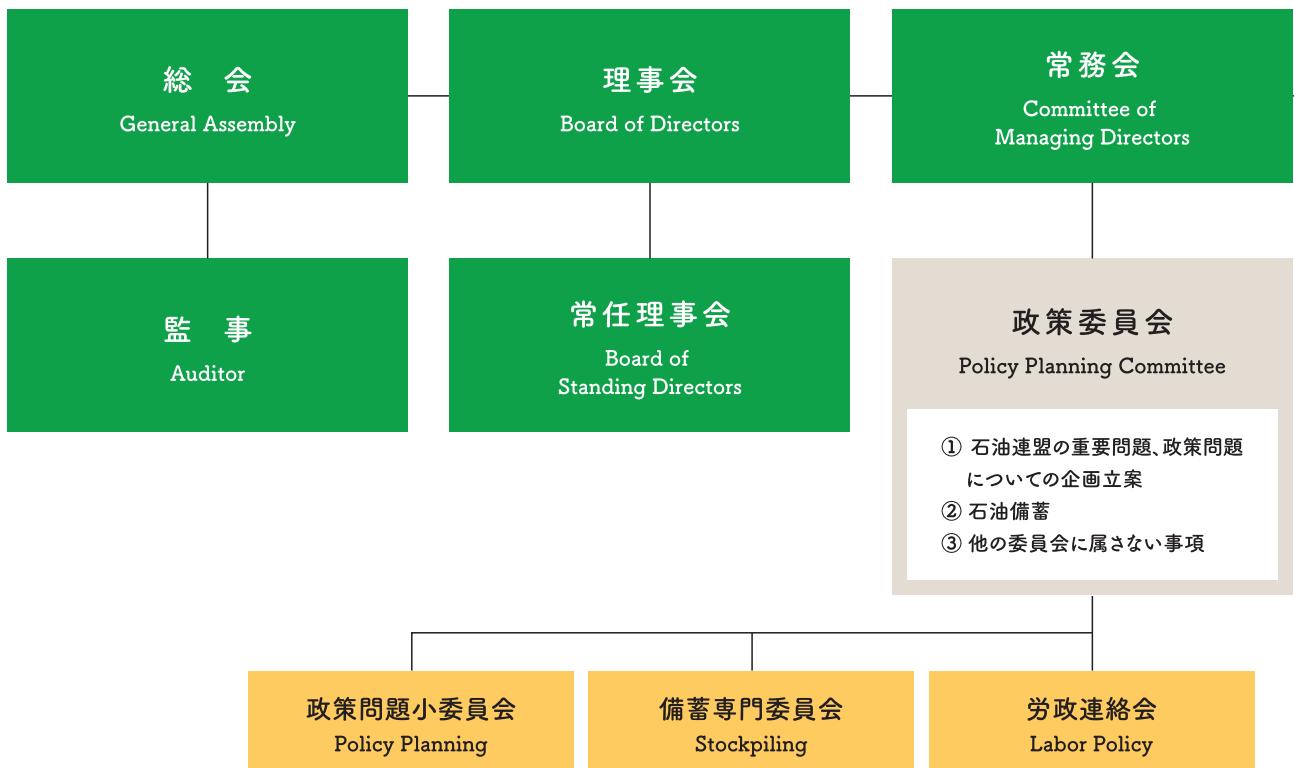
**22代** 2020年5月～現在  
**杉森 務** T. Sugimori  
ENEOSホールディングス会長 グループCEO

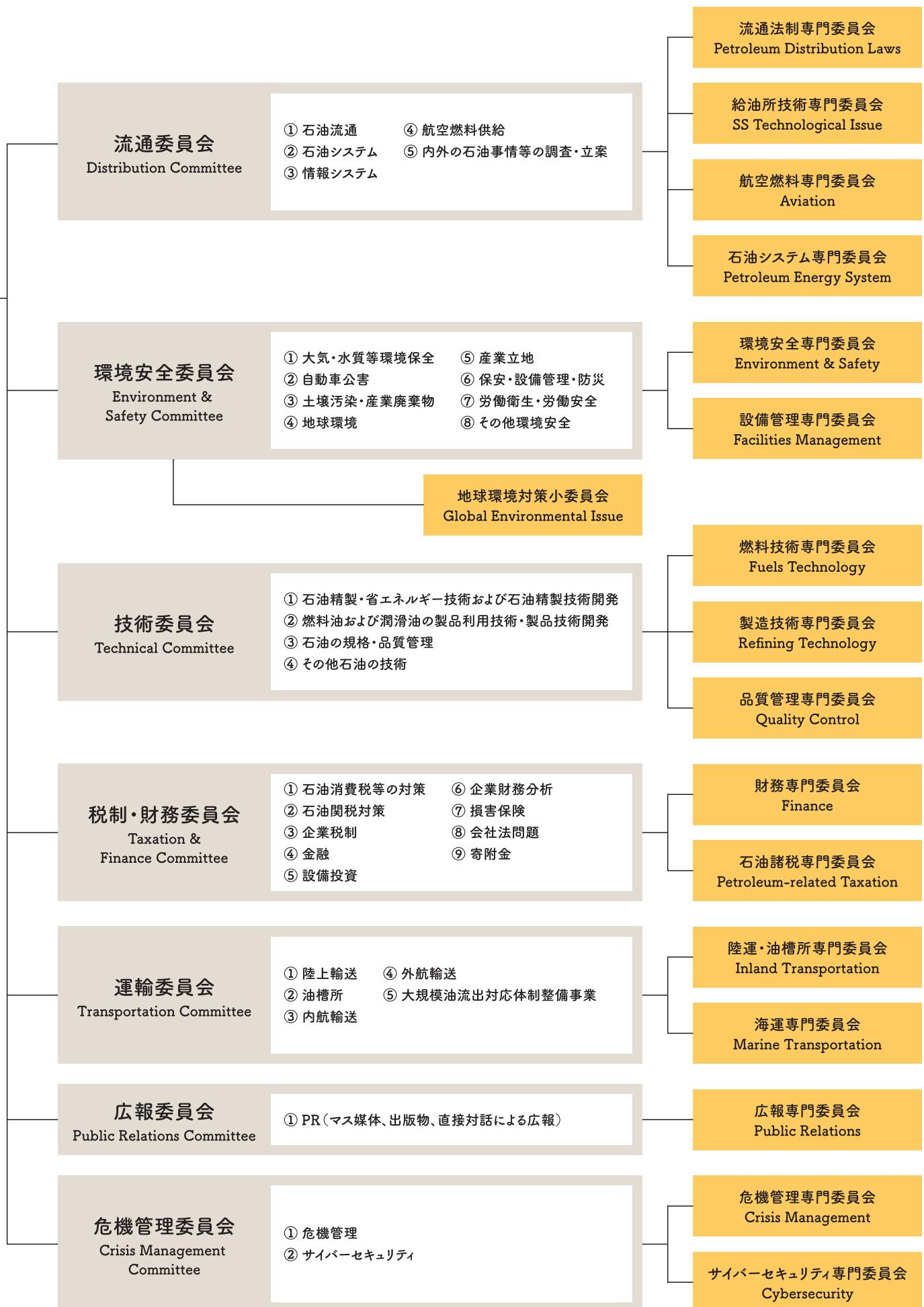


# 委員会の組織

石油連盟は、理事会の下部機構として常務会、8の委員会、20の小委員会・専門委員会を設け、その他に石油連盟会員会社以外の参加・協力を得て組織される4つの附置機構を加えて、全体の委員会組織を構成しています。

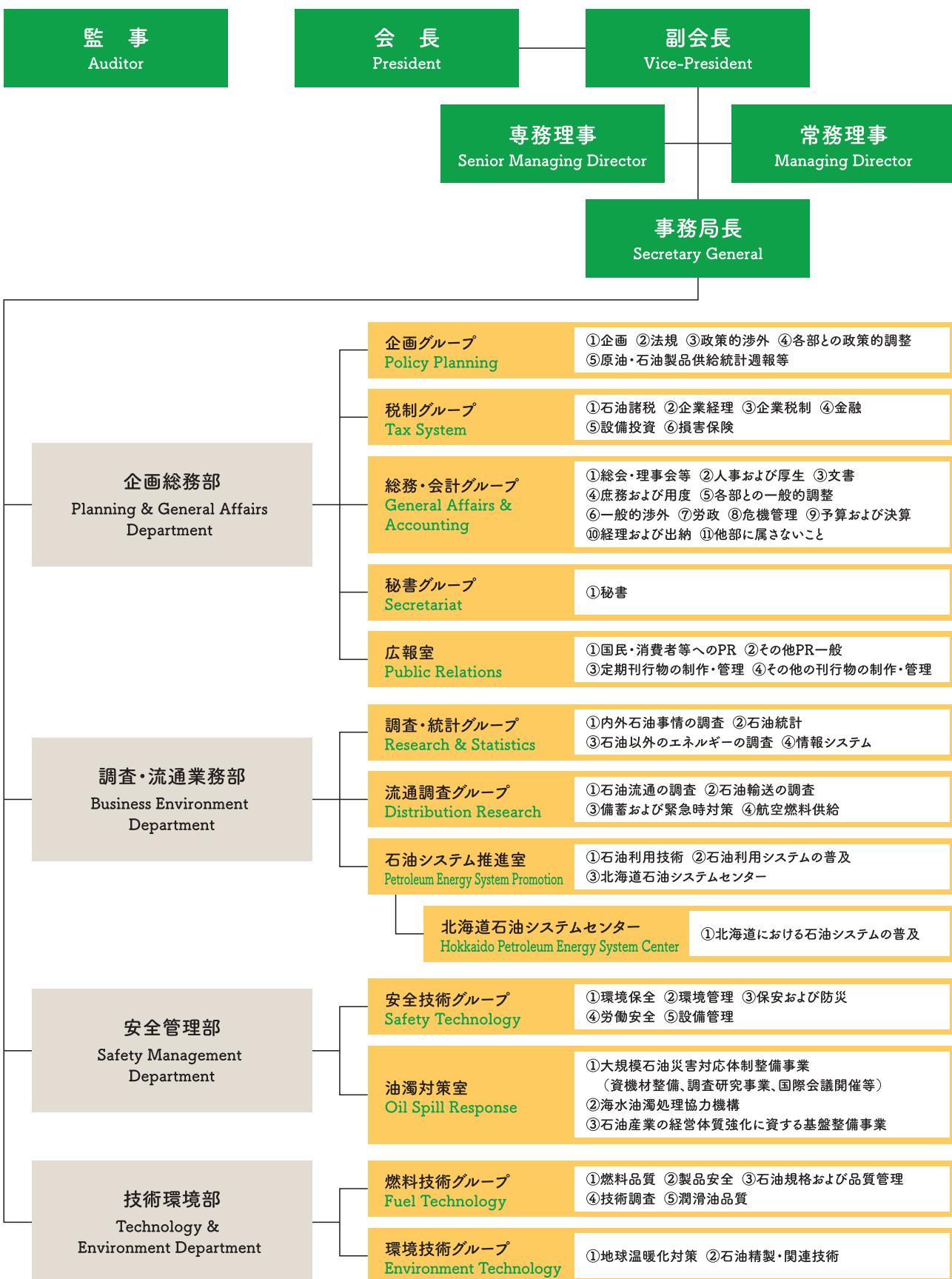
石油連盟の各委員会は、それぞれ次の事項を審議し、その結果を委員会は常務会に、常務会は理事会に上申しています。





# 事務局の機構と職務

事務局は、4部、12グループ・室で構成され、それぞれ下記の業務を行っています。



\*この他に各部にまたがる特定業務を処理するプロジェクトチームが設置されています。

# 2021年度の主な事業計画

1

## 石油産業の経営基盤強化

Improvement & Reinforcement of the petroleum industry's business structure

- (1) エネルギー政策・石油政策への対応  
Advocate deliberations on the new energy policy
- (2) 競争力強化・構造改善への対応  
Offer opinions to strengthen international competitiveness of the industry
- (3) 競争力強化に向けた規制見直しへの対応(規制改革要望等)  
Offer opinions to the deregulation of the industry and refinery safety
- (4) 税制改正への対応  
Appropriately handle tax revision
- (5) 需要変化に対応するための製油所生産性の向上に資する研究・実証  
Research and demonstration to improve refinery productivity to respond to changes in demand
- (6) 公正・透明な石油製品市場の形成に向けた対応  
Offer the formation of a fair & transparent domestic petroleum market
- (7) 石油システムの普及・促進  
Promote broad use of PAJ's high efficient oil utilization systems for heating
- (8) 基礎的情報共通基盤の整備  
Provide information & statistical data of the petroleum industry

2

## 緊急時等における石油の安定供給確保のための環境整備

Emergency Response Measures to secure stable supply of petroleum products

- (1) 石油産業における多様なリスクへの対応  
Reinforce various emergency response capability including national oil stockpile, big earthquake, infectious disease and cyber security
- (2) 石油サプライチェーンの維持  
Maintain petroleum supply network through reviewing safety regulations on service station
- (3) 緊急時等の適切な情報発信  
Provide timely and appropriate information in emergencies

3

## 環境問題等社会的要請への対処

Environment & Social Responsibility

- (1) 2050年カーボンニュートラルを見据えた気候変動対策等の取り組み強化  
Strengthen measures to climate change and other issues with a view to 2050 carbon neutral
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック対応  
Cope with Tokyo 2020 Olympic, Paralympic TDM project
- (3) 産業保安  
Enhance voluntary safety management action plan (Risk-based approach)
- (4) 油濁対策  
Implement PAJ Major Oil Spill Response Program

4

## 石油産業への理解促進・啓発

PR activities for better public understanding of the petroleum industry

- (1) カーボンニュートラルなど気候変動対策に対する業界の取組の情報発信強化  
Strengthening the dissemination of information on the industry's efforts to combat climate change, including carbon neutral
- (2) 業界のセキュリティ・レジリエンス強化の取組、災害発生時の石油供給状況などに係る情報発信強化  
Strengthen the dissemination of information on the industry's efforts to enhance security and resilience, and the status of oil supply in the event of a disaster

5

## 石油業界の基盤強化活動の推進

Relating activities

- (1) 世界石油会議日本国内委員会の事業運営の支援  
Support the business of the Japan National Committee for the World Petroleum Council
- (2) 石油産業の労働政策に係る諸課題への取り組み  
Deal with Labor Policy issues concerning the petroleum industry

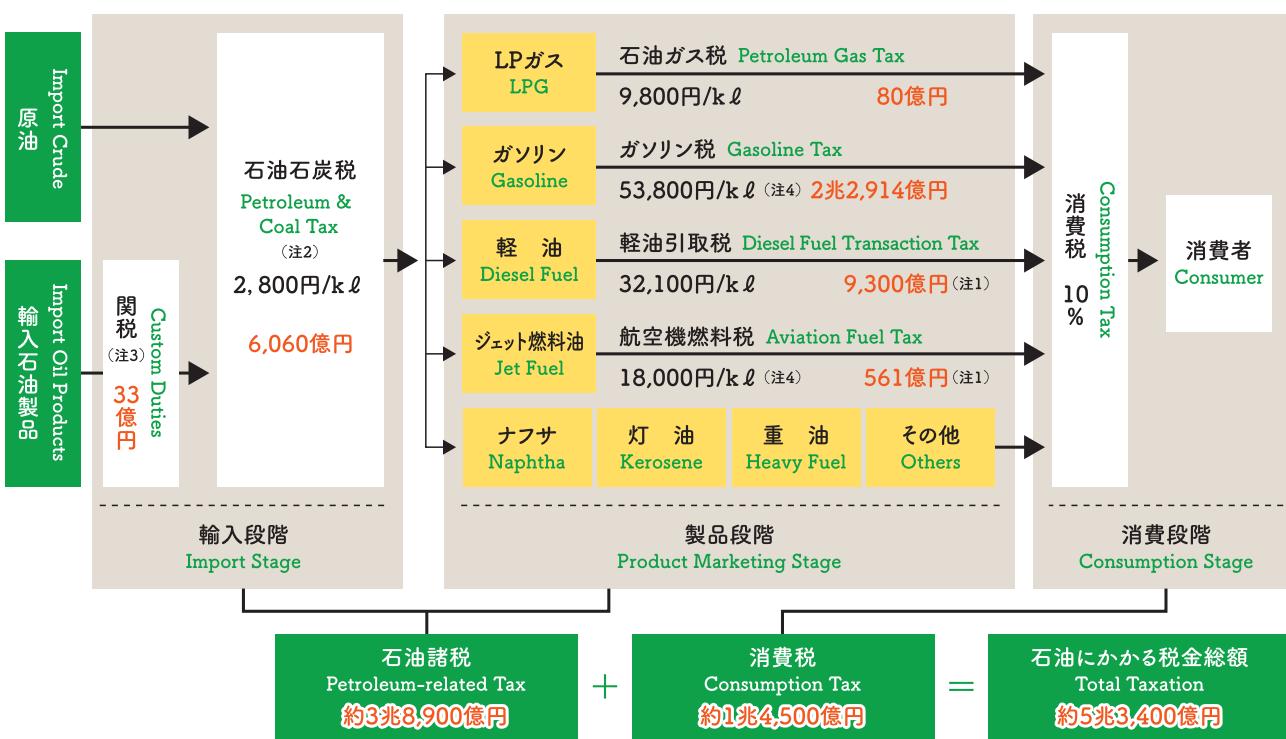
# 数字で見るわが国の石油産業

## わが国の石油産業の現状 Overview



## わが国の石油にかかる税金と年間総額 Tax rates on Petroleum

2021年度予算 FY2021 Budget (hundred million yen)



(注): 1. 軽油引取税と航空機燃料税には、Tax on Taxはない。

2. 石油石炭税は原油、輸入石油製品、石炭、ガス状炭化水素（国産天然ガス、輸入LNG、輸入LPG等）が課税対象。

税収には原油および輸入石油製品以外への課税分が含まれる。

3. 2006年4月より原油関税（170円／kℓ）は撤廃され、石油製品関税のみとなった。（関税收入は、2019年度輸入実績に基づく石油連盟算定値）

4. ガソリン税には、沖縄県における税率の軽減措置がある。航空機燃料税には、沖縄路線および特定離島路線における税率の軽減措置がある。

出所：財務省主計局資料、総務省自治税務局等。消費税額は石油連盟による試算値

# 会員会社



**出光興産株式会社 Idemitsu Kosan Co., Ltd.**

〒100-8321 東京都千代田区大手町1-2-1 Tel.03-3213-3115(広報)

<https://www.idemitsu.com/jp/>



**東亜石油株式会社 TOA OIL CO., LTD.**

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町3-1 Tel.044-280-0600(代表)

<https://www.toaoil.co.jp/>



**鹿島石油株式会社 KASHIMA OIL CO., LTD.**

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-2(ENEOSビル) Tel.0120-56-8704(ENEOSお客様センター)

<https://www.kashima-oil.co.jp/>



**太陽石油株式会社 Taiyo Oil Company, Limited**

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3(日比谷国際ビル) Tel.03-3502-1601(代表)

<https://www.taiyooil.net/>



**富士石油株式会社 Fuji Oil Company, Ltd.**

[東京] 〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8(天王洲パークサイドビル) Tel.03-5462-7761(代表)

[袖ヶ浦] 〒299-0266 千葉県袖ヶ浦市北袖1番地 Tel.0438-63-7011(総務)

<http://www.foc.co.jp/>



**コスモ石油株式会社 Cosmo Oil Co., Ltd.**

〒105-8528 東京都港区芝浦1-1-1(浜松町ビル) Tel.0570-783-280(代表)

<https://coc.cosmo-oil.co.jp/>



**コスモ石油マーケティング株式会社 Cosmo Oil Marketing Co., Ltd.**

〒105-8314 東京都港区芝浦1-1-1(浜松町ビル) Tel.0570-783-280(代表)

<https://com.cosmo-oil.co.jp/>



**ENEOS株式会社 ENEOS Corporation**

〒100-8162 東京都千代田区大手町1-1-2(ENEOSビル) Tel.0120-56-8704(ENEOSお客様センター)

<https://www.eneos.co.jp/>



**キグナス石油株式会社 Kygnus Sekiyu K.K.**

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-3-2(大手町プレイスイーストタワー 10階) Tel.03-5204-1600(代表)

<http://kygnus.jp/>



**昭和四日市石油株式会社 SHOWA YOKKAICHI SEKIYU CO., LTD.**

[三重] 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1番地 Tel.059-347-5511(代表)

[東京] 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1

<https://syskk.co.jp/>



**西部石油株式会社 Seibu Oil Co., Ltd.**

[東京] 〒101-0053 東京都千代田区神田美士代町7番地(神田第二中央ビル5階) Tel.03-3295-2600(代表)

[山口] 〒756-0885 山口県山陽小野田市西沖5番地 Tel.0836-88-1111(総務)

<https://www.seibuoil.co.jp/>



〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2(経団連会館17階)

TEL 03-5218-2305(広報室) FAX 03-5218-2321

Keidanren Bldg. No. 3-2, 1-chome, Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-0004 Japan

Telephone +81-3-5218-2305 Facsimile +81-3-5218-2321 <https://www.paj.gr.jp/>

#### 北海道石油システムセンター

〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西3-3-20(時計台スクエアビル6階)

TEL 011-200-5055 FAX 011-200-5056

#### Hokkaido Petroleum Energy System Center

Tokeidai Square Bldg. North1 West3-3-20, Chuou-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0001 Japan

Telephone +81-11-200-5055 Facsimile +81-11-200-5056

